

第5回『プロジェクトK』

[日 時]令和元年8月1日（木）9:30～14:30

[場 所]石巻駅前、立町、アイトピア通り

[テーマ]世界に誇れる石巻地域にしよう - 発信！未来へ -

[概 要] 石巻地方最大のイベントである川開き祭りでは、他団体との連携により“ゴミを減らし、出たゴミを集める”ことを観光客に働きかけます。『プロジェクトK』は、耕人塾の“K”や川開き祭りの“K”などの頭文字をイメージにしています。

●**参加者集合**：石巻駅前のゴミゼロステーション近くに集合する塾生たち



石巻市環境保全リーダーの会、NPO法人いしのまき環境ネット、宮城県産業廃棄物協会、石巻青年会議所など他団体と連携し、川開きお祭り広場を中心にゴミ拾いの実践活動がスタートしました。

●活動の様子

「立つ鳥跡を濁さず」「めざせキレイな石巻！！」「ごみは、ごみばこへ」の看板を掲げ、ゴミ拾いの実践活動が展開されました。



「ゴミは、こちらへ！」と塾生が呼び掛けると、観光客は「ありがとう」「ごくろうさま」と声を掛けてくれました。



塾生の他に塾生をサポートしている教学委員など50人以上の参加者が、石巻駅前、仙台銀行前、アイトピア通りなど3カ所の「ゴミゼロステーション」を拠点に、出店で賑わっている街中を歩き、ゴミ拾いをしました。



人通りの少ない所に入ると、草むらの中や側溝にゴミが多く捨ててありました。



ゴミゼロステーションで、他団体と協力しながらゴミの分別をする塾生たち。



「ゴミのポイ捨て禁止」の看板が観光客の目に留まるよう、他団体と協力しながらゴミの分別を呼び掛ける塾生たち。

●回収したペットボトルを主体的に活用する塾生たち

ゴミ拾い活動の他にゴミの種類を調査したり、ペットボトルなどをリサイクルにして輪投げコーナーを設けるなど、工夫しながら主体的に取り組みました。



ペットボトルを活用した輪投げコーナーで楽しそうに参加する子どもたち。塾生は、ゴミの分別だけでなく、リサイクルにより子どもたちが楽しく遊べるコーナーを提案しました。

●活動に参加した塾生の声

「今年は特に暑くて大変でしたが、祭り会場がきれいになって嬉しかったです。」

「ゴミを拾っていると、“ごろうさんね”と声を掛けられて嬉しかったです。」

「人通りの少ない裏通りになると、ゴミがたくさん落ちていました。」

「ゴミ拾いをしていると、“ありがとう”と何度も感謝されて嬉しかったです。」

「遊びのコーナーを作ったのですが、もっと目立つところでやってもよかった。」



●活動のまとめ

今回は、炎天下の中で活動することから、午前の部と午後の部に分けました。耕人塾の「あいさつ・清掃・ゴミ拾い」の実践活動が市民だけでなく観光客にも伝わり、塾生の主体的な活動により、ゴミのないきれいな石巻にしていこうとする市民への啓発にもつながってきました。

また、塾生自らゴミを拾う活動に加えて、ゴミの種類を調査したり、リサイクルのコーナーを設置するなど、新たな活動が生まれました。

今回の『プロジェクトK』では、耕人塾と他の団体とのコラボ活動が定着し、昨年度と同様に交流の輪が広がり、年代を超えた顔の見える関係づくりを通して、一層の交流を深めることができました。

メニュー

ホーム

耕人塾の活動

令和2年度の活動

令和元年度の活動

第13回「耕人塾」第8期 閉塾式

第12回

第11回

第10回

第9回 実践活動

第7・8回 宿泊研修

第6回 実践活動

第5回

第4回 実践活動

第3回

第2回

第1回 開塾式

平成30年度の活動

>

平成29年度の活動

>

平成28年度の活動

>

平成27年度の活動

>

平成26年度の活動

>

平成25年度の活動

>

平成24年度の活動

報道・受賞